

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	志村さかした保育園
日時	令和7年3月11日

1. 活動テーマ

<テーマ>

5歳児…幼児教室（規則性を想像して考える・区切りや条件を理解する）

<テーマの設定理由>

・見えないところまで想像し続きを考える

2. 活動スケジュール

・マグネット ・くさりを使った活動
・ワークブック

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・マグネット ・くさり ・ワークブック ・鉛筆 ・消しゴム
・4人ずつのグループで活動する

4. 探究活動の実践

<活動内容>

・マグネットを交互に一定の規則を定めて貼っていき、貼り切れなくなった先の順番も想像して答える（黄、黄、オレンジ等）
・形（○、△、×）の書き方、書き始める所を確認する
・くさりを使い指示通りに繋げていく（赤→青→赤→青…）
・合っているかグループで確認する
・2回指示通りに繋げる
・好きな組み合わせで繋げる
・ワークブックはみかん、ぶどう、バナナがいくつも描いてある表にルールに従って線を引いていく
・名前書き（消しゴムを使わずにやる）
・間違いがわかるように、1度書いたものは消さない事

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり>



・マグネットの規則性は理解が早く、マグネットを貼っていないところも自分で考え声に出して言っていた。

・塊として考えることで、くさりを繋いでいく際もほとんどの子が自主的につなぎ合わせ、指示通り進めることが出来た。

・くさりを繋ぐところは、隙間が空いている所同士をくっつけることを意識することでスムーズに進められる子が多かった。外す際に苦戦する子がいたが繰り返し取り組んでいるうちにスピードアップしていた。

・自分で規則性を考えくさりを繋げていく時は、言葉を発することなく集中して黙々と繋げることを楽しんでいた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

・指示をよく聞いて、講師の動きをよく見ながら取り組んでいた子は進み始めが早かった
・規則性の意味が分かってない子もいたが、言葉にして取り組むことで理解できた
・ワークブックの名前書きは、文字の大きさを具体的に伝えていないと、それぞれが大きかったり小さかったりバラバラだった
・2回目はどのように書くかルールを決めたことで、真ん中に大きく書くことを意識していた